




いぶき 第77号
 発行者 吉野 公博
 編集 患者サービス向上委員会
 香川県丸亀市城東町3丁目3番1号
 TEL (0877)23-3111
 FAX (0877)24-1147
 季刊誌 年4回発行
<http://www.kagawah.johas.go.jp>

皮膚科が新設されました
皮膚科部長 高橋 正幸



「皮膚」は体の中で一番身近な臓器・全身を覆う最大の臓器です。皮膚・皮下組織で体重の約16%を占めています。皮膚科では、皮膚になんらかの異常があるすべての疾患がその診療対象となります。皮膚疾患には、感染症、炎症性疾患、腫瘍、アレルギー疾患、自己免疫疾患など、様々な疾患が混在しています。皮膚科は、その中から、皮疹を診て、診断を考え、治療法を組み立てます。また、「皮膚は全身の鏡」と言われますが、皮膚病変と関連して体の中で起こることを、内科的知識・外科的知識の大きな視点と、細胞・組織学的知識の微小な視点を併せて考え、診療にあたります。

令和2年4月、当院に皮膚科が新設されました。当科では入院設備のある地域の基幹病院の皮膚科として、開業医の先生方からご紹介いただく重症な皮膚疾患治療に従事しております。重症な皮膚疾患には、主に次の①～⑥があります。①感染症・細菌による蜂窩織炎・ウイルスによる帯状疱疹。②アレルギー疾患・薬疹やアナフィラキシー。③全身の水疱症・天疱瘡など。④熱傷⑤生物学的製剤(特殊な注射)の必要症例…乾癬、掌蹠膿疱症、アトピー性皮膚炎、慢性じんま疹。⑥皮膚腫瘍…検査(ダーモスコピー)・特殊な拡大鏡、皮膚生検・局所麻酔を用いた皮膚部分採取、超音波、CT、MRI)を行い、良性・悪性を見定めたのち、形成外科とも適宜連携しながら手術を実施しています。

さて、これから日差しの強い季節となります。皮膚がんの発生予防や皮膚の老化防止に、日焼け止めを使

用するなど、紫外線防御をお勧めいたします。今後ともよろしくお願いいたします。



部署紹介「患者サポートセンター」
患者サポートセンター師長 松崎 尚子

患者サポートセンターは2016年に開設され、2018年7月に入院支援部門が加わり地域連携・患者サポートセンター(愛称…つなぐステーション)としてリニューアルしました。

地域の皆様が、住み慣れた地域で継続して生活できるように、入院から退院後の

在宅生活に向けて、切れ目のない支援を提供しています。当院の入退院支援の取り組みは、全国にある労災病院の中でもトップクラスであると評価をいただいております。今回は、その取り組みの一部を紹介します。入院が決定した患者様には、入院前の生活状況・ア



香川労災病院の理念

働く人々や地域の人々に
安全で安心のよりよい
医療と看護を提供します

レルギー・身体状況の確認をはじめ、禁煙や手術の前に必要な呼吸訓練等の説明を行い、安全に治療・検査を受けられるための準備をしていきます。また、安心して入院生活を過ごしていただけるよう、入院後の治療の流れを説明しています。さらに、病気や治療に関連した様々な不安を抱えた方、家族の介護中で自身の治療に専念できない方、病気のため仕事の継続が困難と考えている方など様々な不安に対しては、専門分野の専門看護師・認定看護師・医療ソーシャルワーカーが相

談に乗り、不安なく入院治療が受けられるように支援しています。入院後も病棟看護師や様々な職種と連携し、退院後の生活を見据えた支援を行っています。例えば、自宅への退院が不安な患者様には、退院前や退院後に自宅を訪問し、生活環境の調整や自宅で療養生活が継続できることを確認します。患者様やご家族の要望を伺いながら、必要な方には介護用品など社会的資源の活用、ヘルパーなどの調整、訪問看護や訪問診療への連携を行います。但し、自宅での生活が困難な

リンパ浮腫ケア外来を始めました

2020年5月より形成外科にて、リンパ浮腫外来(毎週水曜日)に加え、リンパセラピストによるリンパ浮腫ケア外来を開始しました。

「スキンケア」・「圧

迫療法」・「運動療法」を組み合わせ、ご自宅でのセルフケアや自己管理の指導とともに、継続的なサポートをさせていただきます。

● 外来ケア日

月曜日・水曜日・金曜日
15:30～17:00

※リンパ浮腫外来
毎週水曜日
14:00～15:30



肝臓病教室

場合は、施設や療養型病院などの療養先を調整させていただいています。

最後に、訪問診療・訪問看護を受けている方で、人工肛門のトラブル・床ずれ

肝臓疾患の内科的治療を行う患者様は主に東4病棟に入院されます。病気によって治療法は異なりますが、肝庇護療法、腹水のコントロール、肝動脈化学塞栓療法やラジオ波などの血管内治療や、抗がん剤など治療も多岐に渡ります。

入院が決まれば、つなぐステーションにて入院前相談を行っています。入院から退院までの治療の流れをあらかじめ説明することで、入院中のイメージができます。安心して治療に望むことができます。

肝臓がんでBSC(ベストサポートタイプケア)がんに対する抗がん剤などの積極的な治療は行わず、症状などを和らげる治療に徹することを行います(がん性疼痛

東4病棟 森谷 優貴

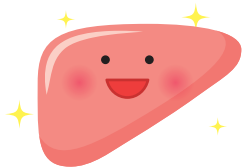
・がん等でお困りの方には、専門的な資格を取得した看護師が訪問看護師と一緒に訪問を行っていますのでご相談下さい。

認定看護師と病棟看護師が情報共有を行い、医師や薬剤師、医療ソーシャルワーカーなど多職種と連携を取り、症状緩和に努めています。その人らしく最期を迎えられるようにご本人やご家族に意思を確認し、カンファレンスを行い最善の方法を考えながら看護を行っています。



肝臓病は慢性的な経過を辿ることが多く、病気について正しく理解し、日常生活において疾患の管理をすることが長く付き合っていくために大切です。そのために肝臓病教室チームは、広く市民のみなさまに肝臓病に関する情報と正しい知識の提供を行い、啓蒙活動として年に4回肝臓病教室を開催しています(新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、肝臓病教室は現在中止しております)。日頃の疑問や不安を解決する場として、ぜひ参加してみませんか。

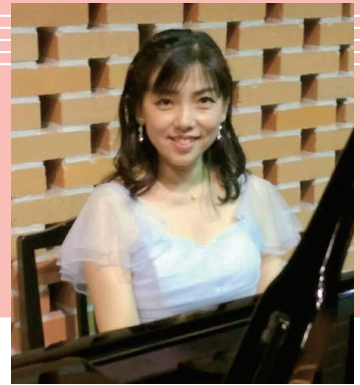
今は人生100年時代です。肝臓病のみならず、病気と付き合いながら、日々の生活が豊かになるようにサポートしていきます。わからないことや不安なことは、私たち看護師にお話しください。一緒に解決していきましょう。ONETeamで患者様とご家族を支援します。



連載③

「演奏家として」

ピアニスト 田村 真穂



田村真穂さんは丸亀市出身で、パリ・エコールノルマル音楽院を修了された後、オルデンブルグ州立歌劇場でヨーロッパデビュー。天性の豊かな音楽性で聴衆を魅了し、現在も国内外で幅広く活躍されています。

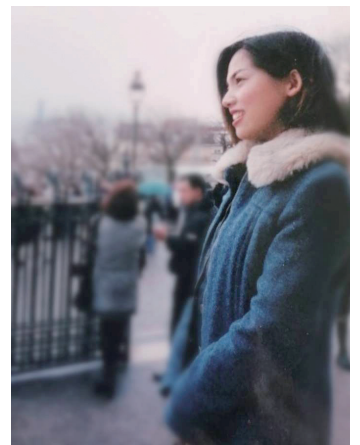
初めての渡航、經由地タイの空港でパリ行きへの乗り継ぎチケットを紛失したことに気づいた私。事情を説明し、ここまで乗って来た飛行機に戻って探したいと必死に訴えていたら一人の黒人C Aが時計を見るなり「急ぐわよ」と走り出しました。長い足の彼女を追いかけ広い空港を激走し、格納庫へと移動する寸前の機体に汗だくになって到着。間一髪で、座席の間に挟まっていた私の命綱、激安チケットを発見することができたのです。「よかった」と手を取り共に喜んでくれる彼女にお礼を言ったら、涙が溢れました。



やっとの思いで辿り着いたパリ市内。疲労と空腹を抱え、目に付いたビストロへ。メニューの「Sauté de foie de veau」これが一番安いけどfoieって何だったのかな。思い出せないまま注文し、ともかく少しほっとし窓外を見ました。と、どうでしょう。みるみる空が暗くなり夜になりました。パリの日没が昼2時とは知りませんでした。急に薄暗くなった店内、運ばれてきたお皿にはラグビーボール型のお肉。思い出しました。Toieは肝臓。私は「子牛のレバーソテー」なるものを注文したようではないレバー。がっかりして一口。ところが、予想と異なる素晴らしい味わい、経験したことのない深い旨味。夢中で食べていたら外が明るくなり再び昼に。いったいどういふことなのでしょう。外に出たら大勢の人が空を見上げています。やっ

とわかりました。その日は十何年かに一度の「皆既日食」だったのでした。「日食」の単語もわからないし、ああ、私は大丈夫だろうかと思いつつ留学生活はスタートしたのでした。

エッフェル塔からすぐのアバルトマンは、質素なベッドとランドピアノだけが置かれた7階の部屋で、朝10時より音出し可。近くの教会の10時の鐘を待ち兼ねて練習を始め、12時の鐘で一旦休憩。その日も、鐘の音を時計代わりに、集中して練習していました。それは、ショパン作曲ピアノ協奏曲第一番の曲中、鐘の音を表すモチーフの部分を弾いていた時のことでした。窓外の実際の鐘の音が重なったのです。シンクロニシティ、身体に強い電気が走ったような激しい衝撃を受け、その瞬間、わかった！と思いました。この乾燥した空気、風の匂い、町中に聞こえる鐘の音、太陽の光、祈り、セーヌの霧…この場所です。ここはこう、音はこう



で、と夢中で弾いて、気がついたら夜遅くなっていました。その日を境に自分の音がどんどん変わってくるのを実感するようになりました。

精一杯吸収したい。可能な限り美術館を巡り、オペラ座の安い席で観劇し、ピアノの学校以外にソルボンヌ大学にも聴講生として通いました。その夏は、国際親善大使としてロータリー財団から要請された語学研修に参加することになりました。開催地は、モンパルナスからTGVで約1時間の仏中部ワールの町「トゥール」。駅にはこれからひと月お世話になるホームステイ先のマダムが迎えに来てくれるはずでした。

(連載④へ続く)



四季の植物

千日紅(せんいちこう) ヒユ科センニチコウ属

西4病棟看護師・高橋希巳江

開花時期は5~11月、花に見える部分は苞(ほう)と呼ばれる葉の集まりです。乾燥に強いためドライフラワーに適し、色あせ難いことが花の名前の由来です。花言葉は「色あせぬ愛・不朽」、8/14・9/22の誕生花です。

はじめまして。令和2年7月から内科で御世話になることになりました山本宜和(やまもと よしかず)と申します。「宜しくお願ひします」の「宜」に、「平和」の「和」で宜和です。苗字はありふれていますが、名前は子供の頃から「宣和」や「の



第六内科部長
山本 宜和



新任医師紹介

ぶかず」と間違えられることが多いです。兵庫県姫路市の出身で平成14年に岡山大学を卒業し全国の病院で研修した後に地元の病院で内科医をしておりましたが、平成25年に岡山大学第二内科教室に入局後は血液内科でお世話になっております。前任の岡山市立市民病院血液内科には約6年在籍しております。趣味は特にありませんが、お城を見に行ったり神社にお参りにいくことが好きです。岡山市に住んでいた頃は自宅近くの吉備津彦神社に妻とよくお参りしておりました。今回初めてでの四国での勤務になります。御迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

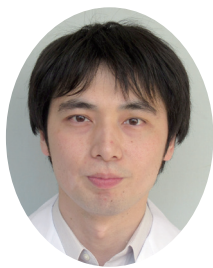


内科副部長
小林 聖幸

職員募集

香川労災病院では、MSW(正規)、医師事務作業補助者(嘱託)、看護助手(嘱託)、食器洗浄・盛付業務(嘱託)、調理師補助(嘱託)を随時募集しております。

詳細は当院ホームページ(<https://www.kagawah-johas.go.jp>)をご覧ください。



泌尿器科医師
山崎 拓

りますので、何卒よろしく
お願い申し上げます。

初めまして、令和2年5月から香川労災病院の泌尿器科に赴任して参りました泌尿器科の山崎拓と申します。出身は地元の丸亀市で、高校卒業後、島根大学に入学し、卒業後も島根県内の病院で勤務してまいりました。島根県に住み始め当初考えていたよりも長い期間、地元を離れることになりましたが、香川県を離れて15年、泌尿器科専門医も取得でき、ようやく地元に戻ってくる
ことができました。

休日は1歳と3歳の子供に早朝から叩き起こされ、子供達と遊んでいると1日が終わることが多いです。香川県に帰ってきてからはコロナウイルスの影響であり外出ができず、室内で子供達と遊んでいます。感染が落ち着いたあかつきには四国水族館に子供達と

遊びに行くのを楽しみにしています。
まだ至らない点が多いとは思いますが、今後とも日々精進していきたいと考えておりますので、何卒よろしくお願ひ致します。

編集だより

患者サービス向上委員

岸本 佳奈

暑い日が続いていますね。皆さんはいかがお過ごしでしょうか。夏バテや熱中症に気を付けてお過ごしください。

今年の夏は、花火大会も夏祭りも自粛モード。病院でもイベントの中止や延期が相次いでいます。せめて「いぶき」をご自宅でも楽しんで読んでいただければと編集委員一同で頭を悩ませているところで。三密避けて文殊の知恵、達成なるか？
広報誌「いぶき」では皆様からのご意見、ご要望を多数お待ちしております。